



あなたの脳は本当に大丈夫??

あれ?!
またもの忘れ...

そんな脳の老化対策に プラズマローゲンEX登場

TBSテレビ「夢の扉+」にて、2015年2月8日にプラズマローゲンに関する内容が放送されました
※以下「夢の扉+」より要約

夢の扉の鍵「暗闇だからこそ光が見えてくる」

不治の病、認知症に立ち向かうのが、九州大学の藤野武彦・名誉教授。「メタボやうつ病などの現代病“脳の疲労”が原因だった」という学説を発表し、一躍注目を集めた人物だ。

認知症は、今なお根本的な治療法がなく、世界中が治療薬の開発にしのぎを削る。研究者たちが狙いを定めるのは、脳内に蓄積されるタンパク質の一種。その沈着により認知症が発症すると考えられているからだ。

しかし、藤野は違った。世界が見向きもしなかった「ある物質」に着目。世界で初めてその物質<プラズマローゲン>の高純度・大量精製に成功した。そして、ついに、念願のヒト臨床試験にこぎつけた藤野。そこで目にしたのは、一部の認知症患者たちに起きた“ある変化”だった。

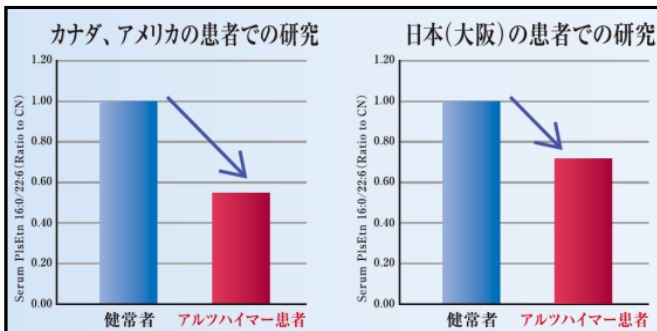
- ・マウスの記憶力テストでプラズマローゲンを摂取すると、記憶力の向上に顕著な改善がみられる。
- ・番組中、2週間～1ヶ月で認知症被験者の4人のうち2人が著しく改善。
- ・認知症患者40人の臨床試験で50%(20人)の方が改善している。(福岡大学病院)

プラズマローゲンとは

人の身体に存在するリン脂質の一種で、人間の脳の中にある成分です。脳細胞の根元的な機能をコントロールしており、認知症患者の脳ではプラズマローゲンが減少しています。

脳の疲労とは

外部からの情報過多により「知性の脳」と「本能の脳」の関係性が破綻し脳が正常な機能を果たせなくなった状態をいいます。物忘れがひどくなる、考えがまとまらなくなる、身体がだるい、夜中に目がさめる、などの症状を引き起こし、認知症やうつ病、生活習慣病の一因です。



アルツハイマー型認知症では 血中のプラズマローゲン量が低下

2007年にアルツハイマー病患者の血中から、プラズマローゲンが検出され、減少しているということが判明しました。生存中のアルツハイマー病患者の血清でプラズマローゲン減少が初めて証明されました。

出典:アルツハイマー病における血清エタノラミンプラズマローゲンの減少 (goodeone DB et al J Lipid Res,48,2007より改変)

世界初！高品質のプラズマローゲンをサプリメントでご提供！



販売価格 **4,980円(税別)** 内容量：30粒入(目安1ヶ月)

成分：プラズマローゲン0.25mg配合(1粒あたり)
ビタミンE含有植物油、ゼラチン、酸化防止剤(δトコフェロール)、グリセリン、安定剤(ペクチン) [一部に鶏肉・卵を含む]

※鶏1トンからわずか約37gのプラズマローゲンの抽出しかできません

4,482円(1割引き)で優先購入できる、便利でお得な定期購入コース(毎月1個以上ご購入・6ヶ月継続)もございます。詳しくは下記、弊社までお問合せ下さい。

限定100名様、
先行ご予約受付中

株式会社イルカカレッジ TEL 0859-35-9787

FAX 0859-35-9074 E-mail info@iluka.jp

鳥取県米子市万能町125 (JR米子駅前)

